

文学部横断型人文学プログラム履修者へ

プログラム運営委員会

**<文学部横断型人文学プログラム>
2024年度春学期「プロジェクト・ゼミ」履修者募集要項**

2024年度春学期開講のプロジェクト・ゼミについて履修を希望する学生は、以下の要領で必要書類をそろえ、締切日までに**メールにて提出してください。**

プログラム運営委員会で選考の上、3月下旬にLoyola上で本人に通知します。この選考に通った学生だけが履修を許可されますが、登録に関する手続きは、許可後に追って文学部長室より連絡致しますので、その指示に従ってください。

【応募資格】

- ① 現在2年次生以上であること。
- ② GPA（全履修科目の成績の平均）が2.5以上であること。
- ② 2年次末までに当プログラムの「共通基礎科目」（4単位）を修得（予定）の者。

【提出書類】

- ① **プロジェクト・ゼミ申請書（様式1）** データ
- ② **成績表 PDF***
- ③ **自由選択科目認定申請書（様式2）** データ（認定を希望する科目がある場合のみ）
- ④ **自由選択科目として認定を希望する科目のシラバス PDF**

*添付する「Loyolaの履修成績照会画面の写し」作成方法

Loyolaメニュー成績>履修成績照会から、「過去を含めた全成績」にチェックし、「ファイルに出力する」を選択。「ファイル出力開始」をクリックして作成されたPDFファイルを添付してください。

なお、個人情報が含まれるデータ書類については、パスワードをかけてください。

【締切と提出先】

2024年3月24日（日）

文学部長室横断プログラム相談窓口：sophia.fhu.pd@gmail.com

【2024年春学期プロジェクト・ゼミの概要】

- ① 「プロジェクト・ゼミC（芸術文化論コース）」
担当者：川口 茂雄（哲学科准教授）
曜日時限：木曜5限（予定）

授業題目「『86』『U149』の研究——優れた深夜アニメ作品は、どう優れているのか？」

授業概要：『86』（2021年）と『U149』（2023年）を中心に、優れた深夜アニメ作品を詳しく分析し、その分析を言語化してプレゼンテーションすることを目標とするゼミです。アニメは時間制限付き絵画であり、小説であり、声であり etc. という総合的な表現形式であり、それがアクセスのしやすさや魅力である半面、作品分析には労力が要されます。それでも分析・論述したい熱意ある方々がいると思います、ぜひご参加ください。可能であれば一週は文楽（人形浄瑠璃）の鑑賞に向き、声の演技を生で味わう機会にします。プレゼンテーションは希望者には秋学期の別の授業（全学「日本のアニメ作品・アニメ製作の研究」）のなかで登壇いただいて、より多くの人がいる場でもご発表いただけるよう検討します。

② 「プロジェクト・ゼミ B (ジャパノロジー・コース) 」

担当者 : 高橋 直治 (新聞学科准教授)

曜日時限 : 金曜 5 限 (予定)

授業題目 : 《ことば=声》と《場所》の転位のためのメディア・プラクティス
~新「ポエトリー・リーディング」動画作品制作の試み~

授業概要 : 《ことば=声》と《場所》に纏わる多様な作品を参照しながら、各自が四ツ谷周辺の《場所》が内包する多様な記憶・物語を取材する中から、独自のテーマを探索し、他ならぬ「此处 here」の《場所》に立って、自身の「肉声 oral」で《ことば》を発してみる。既存のテキストか、オリジナルなテキストかは問わない。その行為を AV メディアで記録し、シンプルな動画作品を制作する。従来の「ポエトリー・リーディング=詩の朗読」というステレオタイプからできるだけ離れて、【発声+場】で生成されるメディア表現を実践的に試行する。

③ 「プロジェクト・ゼミ B (身体スポーツ文化論コース) 」 ※2/19 追加

担当者 : 吉田 美和子 (基盤教育センター 身体知領域教授)

曜日時限 : 月曜 4 限 (予定)

授業題目 : 身体テキストを読む-その先にあるもの (身体技法編)

授業概要 : 本授業ではスポーツ、ダンス、演劇を含む舞台パフォーマンス、道といわれるあらゆる技芸 (Arts) だけでなく、文学や哲学、宗教、歴史やメディアに表象され、あるいは潜行する身体性をテーマとします。

今回はとりわけ「身体技法」における身体の学びの意味を探ることを通して、今、その存在意義が大きく問われているわたしたちの身体 (存在) が何処に向かおうとしているのか、その行方を考えます。担当者の専門であるソマティクス (身心学) 一物としての身体 (Body) だけではなく、心、スピリチュアリティを含む「から (soma)」の学びの多様な身体技法や、東洋のソマティクスとしての坐禅を体験し、国外のソマティクス実践家との討議を行うなかで、受講者は各自の関心テーマを追ってください。身体にダイブしながら考える 14 回の身体の旅となるでしょう。

【注意】

1. プロジェクト・ゼミで履修した単位は、**18 年次生以前の学生は卒業要件に入りません。**
2. 現在 1 年次生は応募資格がありません。
3. 一人の学生が履修できるゼミは原則的に 1 つです。コースを確定している人は第一希望のみの記入です。複数コースにまたがる履修をしている人は、優先順位をつけて 2 つ記入可能です。
4. **選考に通ったけれども履修不可能になった人は、速やかに「履修相談窓口」(下記 8 参照) に知らせてください。**
5. 留学・休学・編入・転部科・9 月入学など特別の事情があり、履修状況が通常の学生と異なる学生は、個別に対応しますので、申請書の特記事項欄にその旨を書いてください。
6. 応募者が極端に少ない場合や辞退者が多数になった場合、追加募集を行う可能性があります。その場合は 3 月下旬に Loyola の文学部掲示板や文学部 HP で告示します。
7. 2024 年度のシラバスは 3 月中旬に公開予定です。つきましては、上記プロジェクト・ゼミの授業概要を参考としてください。なお、過去の文学部横断型人文学プログラムのシラバスを参照したい人は、Loyola の「シラバス参照」で、「年度」を入れ、「科目ナンバリング」に「HUM」と入力すると、まず科目一覧が出ます。このうち、「登録コード」が「HUM」で始まるものが、その年度の文学部横断型人文学プログラムの全科目です。
8. 『文学部横断型人文学プログラム・履修ガイドブック 2023 年』(文学部 HP からダウンロード) や、『上智大学・履修要覧 2023 年度』の 187~194 ページを読み、不明点は、「履修相談窓口」(sophia.fhu.pd@gmail.com) までメールにて相談してください。

以上